

病理診断科2015

【英語論文】

原著論文

1. Kakuda Y, Harada K, Nakanuma Y. Canals of Hering loss relates to the progression of the histological stages of primary biliary cirrhosis. J Clin Pathol.2015;68:141-7
2. Yoshida M, Shimoda T, Kusafuka K, Sugino T, Nakajima T, Ono H . Comparative study of Western and Japanese criteria for biopsy-based diagnosis of gastric epithelial neoplasia.Gastric Cancer. 2015;18:239-45.

総説

1. Nakanuma Y, Kakuda Y.Pathologic classification of cholangiocarcinoma: New concepts. Best Pract Res Clin Gastroenterol. 2015;29:277-93
2. Nakanuma Y, Sasaki M, Harada K. Autophagy and senescence in fibrosing cholangiopathies. J Hepatol. 2015;62:934-45

【和文論文】

著書

1. 草深公秀. 「粘液腺癌」, 「扁平上皮癌」. 腫瘍病理鑑別診断アトラスⅠ. 東京: 文光堂, 2015:68-71,105-7
2. 草深公秀. 「神経内分泌腫瘍」. 腫瘍病理鑑別診断アトラスⅡ. 東京: 文光堂, 2015:68-71,78-82
3. 中沼安二. 胆道疾患を診る医師のための胆道病理テキスト (中沼安二編). 東京: 南江堂, 2015:22-110,126-30,141-62,174-8
4. 角田優子, 中沼安二. 胆嚢および総胆管の腺筋腫症. 胆道疾患を診る医師のための胆道病理テキスト. 東京: 南江堂, 2015:242-4
5. 下田忠和. 大腸S M癌摘除後の病理学的評価、追加外科切除基準. 松田尚久, 堀田欣一編集, 内視鏡医のための大腸ポリープマネジメント. 東京: 日本メディカルセンター, 2015:158-67
6. 下田忠和. 消化管内分泌細胞腫瘍の概念とその分類 -WHOと日本の消化管癌取扱い規約分類との対比. 杉原健一他編集, 大腸疾患NOW2015. 東京: 日本メディカルセンター, 2015: 51-60

解説その他

1. 川崎 卓弥, 林 勇, 丸山 浩二, 中島 孝. ICタグを用いた病理組織検体管理システムの検討. 病理と臨床. 2015;33:1153-8
2. 中沼 安二. 肝臓の病理形態の理解と診断へのアプローチ 類洞閉塞症候群. 肝・胆・膵. 2015;71:943-5.
3. 中沼 安二, 田妻 進, 相島 慎一, 大塚 将之. コランギオパチー コランギオパチーのコンセプトと疾患理解新. 肝・胆・膵. 2015;71:927-41.
4. 中沼 安二. コランギオパチー コランギオパチーに対する新しい考え方 コランギオパチーの考え方. 肝・胆・膵. 2015;71:795-803.
5. 中沼 安二, 福村 由紀.胆嚢・胆管と膵臓の画像診断update:病理・画像・治療のtriangle 胆道疾患の病理 .臨床画像. 2015;31:1288-99.

6. 中沼 安二. 肝臓の病理形態の理解と診断へのアプローチ 類上皮肉芽腫. 肝胆膵. 2015;71:771-3.
7. 中沼 安二. 肝臓の病理形態の理解と診断へのアプローチ 小細胞性変化(ディスプラジア). 肝・胆・膵. 2015;71:551-3.
8. 中沼 安二. 肝臓の病理形態の理解と診断へのアプローチ 海綿状血管腫. 肝・胆・膵. 2015;71:349-51
9. 中沼 安二, 角田 優子, 佐々木 素子. オートファジーと消化器疾患 原発性胆汁性肝硬変とオートファジー. G I Research. 2015;23:191-7
10. 中沼 安二. 肝臓の病理形態の理解と診断へのアプローチ 慢性非化膿性炎破壊性胆管炎. 肝・胆・膵. 2015;71:173-5
11. 中沼 安二. 肝臓の病理形態の理解と診断へのアプローチ 嚢胞. 肝・胆・膵. 2015;70:929-31
12. 中沼 安二. 肝臓の病理形態の理解と診断へのアプローチ 細胆管増生. 肝・胆・膵. 2015;70:785-8
13. 中沼 安二, 角田 優子. 膵癌・胆道癌-基礎と臨床の最新研究動向- 胆道癌 臨床編 胆道癌の病理学的分類. 日本臨床. 2015;73:471-6
14. 中沼 安二, 角田 優子. 膵癌・胆道癌-基礎と臨床の最新研究動向- 胆道癌 基礎編 胆道と膵臓の発生学的・病理学的類似性. 日本臨床. 2015;73:455-60
15. 中沼 安二. 肝臓の病理形態の理解と診断へのアプローチ 胆管消失. 肝・胆・膵. 2015;70:643-5
16. 中沼 安二. 肝臓の病理形態の理解と診断へのアプローチ 肝線維化. 肝・胆・膵. 2015;70:493-5
17. 中沼 安二. 肝臓の病理形態の理解と診断へのアプローチ マロリ体. 肝・胆・膵. 2015;70:321-3
18. 中沼 安二, 角田 優子. 最新肝癌学-基礎と臨床の最新研究動向- 肝癌の浸潤・転移 肝内胆管癌(胆管細胞癌)の浸潤様式、脈管侵襲、転移機序. 2015;73:311-5
19. 中沼 安二, 角田 優子. 最新肝癌学-基礎と臨床の最新研究動向- 肝癌の病理・病態 胆管嚢胞腺癌 胆管内乳頭状腫瘍. 日本臨床. 2015;73:288-91
20. 中沼 安二, 角田 優子. 最新肝癌学-基礎と臨床の最新研究動向- 肝癌の病理・病態 胆管嚢胞腺癌 肝・胆管の粘液性嚢胞性腫瘍. 日本臨床. 2015;73:284-7
21. 中沼 安二. 肝臓の病理形態の理解と診断へのアプローチ 脂肪性肝炎. 肝・胆・膵. 2015;70:169-71